津田塾大学 数学·計算機科学研究所報 35

Reports of Institute for Mathematics and Computer Science 35

第 24 回 数学史シンポジウム (2013)

24th Symposium on the History of Mathematics (2013)

2013

津田塾大学 数学·計算機科学研究所 Institute for Mathematics and Computer Science

Tsuda College

まえがき

津田塾大学 数学・計算機科学研究所主催の「数学史シンポジウム」も回を重ね、第24回が2013年10月12日、13日の両日、津田塾大学 5号館で開催された。この研究所報35号はその報告である。SiSiさんからは原稿がいただけなかった。次回に期待したい。

講演をし、原稿を書いて下さった方々に厚く御礼申し上げます。

2014年3月1日

津田塾大学

数学·計算機科学研究所

三宅 克哉

長岡 一昭

目次

RATIONAL FUNCTIONS DEFINED BY THE LEMNISCATE FUNCTIONS		
AND THE PRIMARY NUMBER OF GAUSSIAN INTEGER (STEP 2)	小川琢磨	1
~GAUSS, ABEL, EISENSTEIN, を繋ぐ虹の架け橋~	•	
L'après-guerre: un renouveau de l'enseignement et de la recherche à Polytechnique	堀井政信	59
ジョージ・ピーコック「代数学」 (1830)について	野村恒彦	67
漢簡「算数書」から理解できる秦簡「数」の算題について	田村誠	74
Ramanujan Revisited τー関数とモック・テータ関数	平松豊一・斎藤正顕	85
東北帝國大学と和算史研究V<藤原松三郎の戦中と戦後>	鈴木武雄	96
A.H.Clifford (1908-1992) の「群の表現論」に関する業績	平井 武	116
ガウスの電磁気学研究について	植村栄治	147
デカルトによるラテン語未刊行数学論文について	心民 专	150
On the Descartes' unpublished Articles	但馬亨	158
THE DEFINITE INTEGRAL OF POISSON REVERING LAGRANGE AS HIS MENT	OR	
- TO BICENTENNIAL AFTER LAGRANGE.	増田茂	167
LAGRANGEを師としたPOISSONの定積分 - LAGRANGE後200年に向けて		
Minkowski 数の幾何学	今野秀二	218
P.レヴィの数学について (続き)	飛田武幸	229
ライプニッツの接線法をめぐって	高瀬正仁	240
エウクレイデス「原論」は純粋数学か?	三富照久	248
日本語の漢数詞の命数法の歴史と累進法	宮田義美	257
「指数」はなぜ指数と云うのか? その概念と用語の歴史的変遷を巡って	鈴木真治	315
双曲多項式の性質 (2)	宮川幸隆	399